



岡崎市立城北中学校 校長通信

# 校長室の窓から

～校訓 真面目・精一杯 自主・自律～

6号

令和5年12月11日

城北中学校長  
山本 則夫

## 伝統の暁天かけ足

今から62年前（昭和36年）に市内14番目の中学校として本校は開校しました。開校当時は、校舎も未完成、備品もない状態で、連尺小の体育館をベニヤで間仕切りして授業をし、職員室は連尺小体育館舞台裏に設置していました。開校当時は生徒数1372名28学級の大規模校でした。現在では、一クラス最大は40人ですが、当時は50人近くが一つの教室で勉強していました。



【連尺小体育館をベニヤで仕切った臨時教室】

その後、城北中学校の様々な伝統が作られました。「不動」、「無人購買」、「ねずみグループ」など今なお続く伝統がたくさんあります。



【連尺小体育館舞台裏の職員室】

そして今週末に迫った「暁天かけ足」もその一つです。昔は男子は上半身裸で走り、ところどころに先生が立ち、気合いを入れるために水をかけていたという話も城北中の卒業生の方から聞きました（現在は体操服を着て走ります）。この3年間はコロナのため無言で走りましたが、本年度から「よいしょ」のかけ声を復活させます。走った後は、PTAの方が作ってくれる八丁みそ豚汁が待っています。



【上半身裸で走る暁天かけ足】

それぞれの学校には様々な特色のある行事があります。しかし、生徒と教師、保護者・地域を巻き込んで行う行事は年々姿を消していきます。特にコロナ禍で多くの学校活動は制限を受け、行事縮減の速度は加速しました。私が校長として常々思うことは、「学校行事は、立ち上げるのに苦労はあるが、それを継続していくことも、また様々な困難がある」ということです。「暁天かけ足」はコロナ禍でもなくなることなく受け継がれる本校最大の伝統行事です。これまで存続していただいた先輩先生方、保護者、地域の皆様に感謝の思いを胸に、12月16日（土）、全校生徒が城北学区を駆け抜けます。

**★12月16日(土)午前5時20分～6時20分 この時間帯に学区を走ります！**

**早朝からご迷惑をおかけすると思いますが、どうか御理解ください。**